



政府統計

# 平成24年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果(速報)

平成25年1月

内閣府

---

# 調査概要

---

## 1. 調査目的

平成21年度～平成23年度に引き続き、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」(いわゆる「青少年インターネット環境整備法」。平成21年4月1日施行。)の施行状況のフォローアップのための基礎データを得ることを目的として実施。

## 2. 調査設計

- (1) 方 法: 調査員による個別面接方式
- (2) 対 象: ①満10歳から満17歳までの青少年 (3, 000人)  
②上記青少年の同居の保護者 (3, 000人)
- (3) 期 間: 平成24年11月1日～11月11日
- (4) 回収結果: ①青少年調査 1, 867人 (62. 2%)  
②保護者調査 1, 915人 (63. 8%)

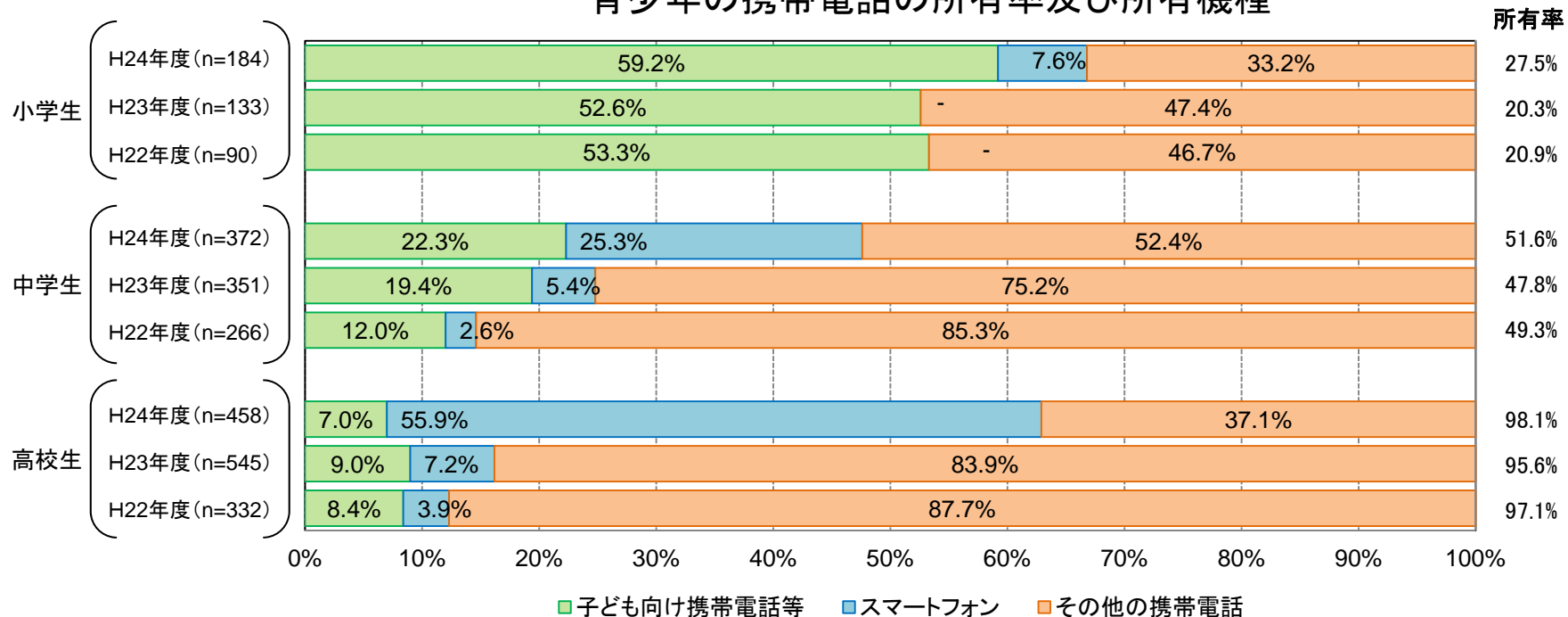
## 3. 企画分析会議

- 委員長 藤 原 静 雄 (中央大学法科大学院 教授)
- 委 員 生 田 倫 子 (神奈川県立保健福祉大学 専任講師)
- 国 分 明 男 ((財)インターネット協会 副理事長)
- 小豆川 裕 子 ((株)NTTデータ経営研究所 ソーシャルイノベーション・コンサルティング本部  
シニアスペシャリスト)
- 西 田 光 昭 (千葉県柏市立中原小学校 校長)

# ポイント① 青少年の携帯電話の所有状況

スマートフォンを所有する青少年が増加。

青少年の携帯電話の所有率及び所有機種



(注) 1 「青少年の携帯電話の所有機種」は、携帯電話を持っていると回答した青少年をベースに集計。

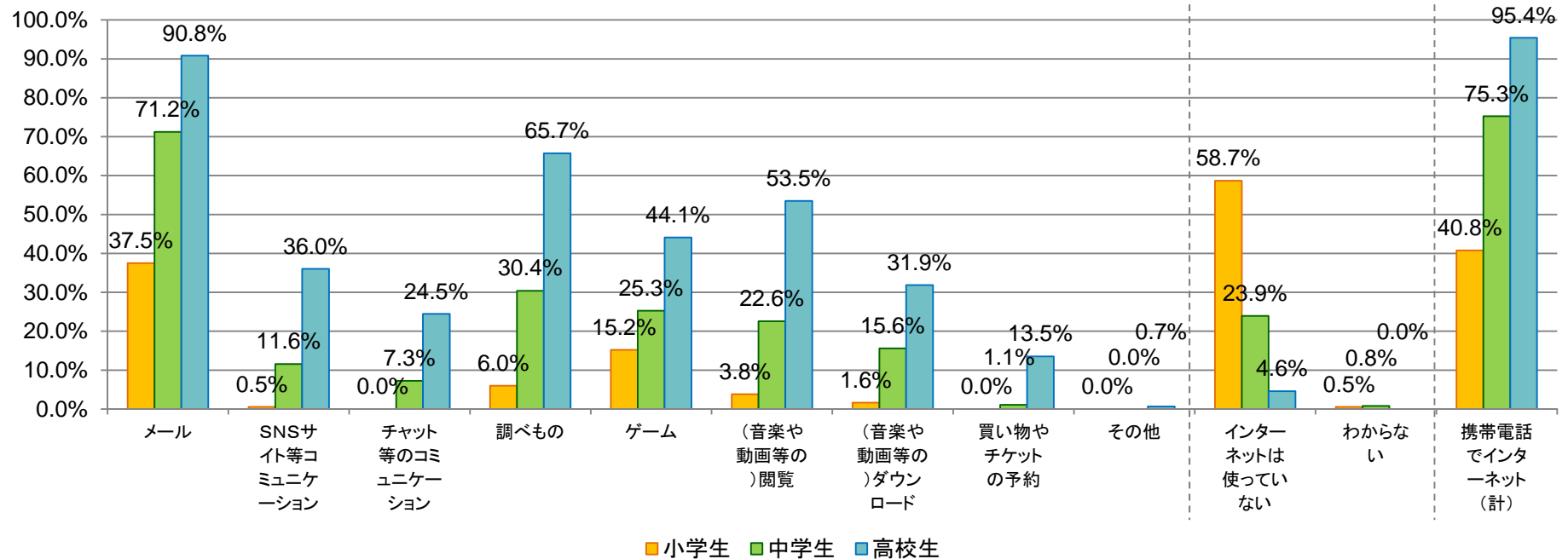
(青少年調査)

➤ 青少年が所有する携帯電話のうちスマートフォンの占める割合は、小学生では1割弱、中学生では2割半ば、高校生では5割半ば。

# ポイント②青少年のインターネット利用状況 - 1

青少年による携帯電話を通じたインターネット利用が常態化。

## 青少年の携帯電話のインターネット利用状況



(注) 「青少年の携帯電話のインターネット利用状況」は、携帯電話を持っていると回答した青少年をベースに集計。

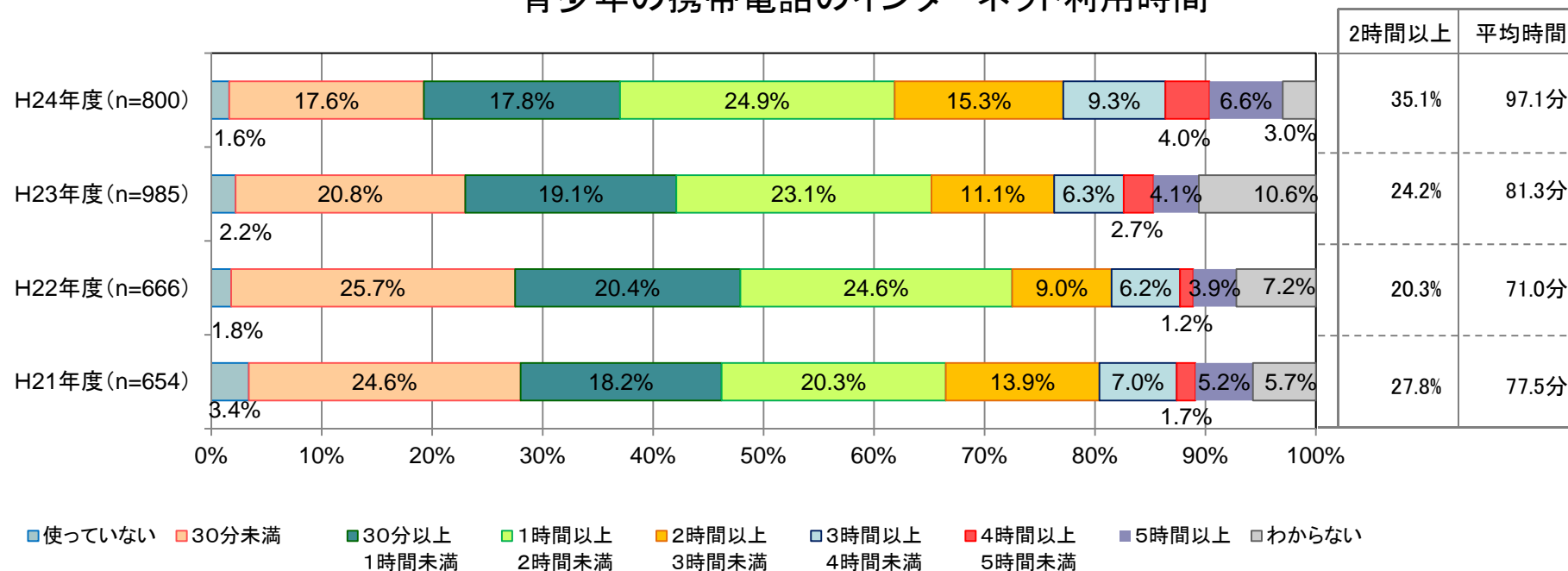
(青少年調査)

- 携帯電話を所有する青少年のうち、小学生の約4割、中学生の7割半ば、高校生のほとんどがインターネットを利用。
- 利用内容は、小学生ではメール、ゲーム、中高生ではメール、調べものが上位。

## ポイント② 青少年のインターネット利用状況 - 2

青少年による携帯電話を通じたインターネット利用が長時間化。

青少年の携帯電話のインターネット利用時間



(注) 1 「青少年の携帯電話のインターネット利用時間」は、携帯電話でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

2 利用時間は、平日(土日を除く)1日当たりの携帯電話のインターネット利用時間の平均値を集計。

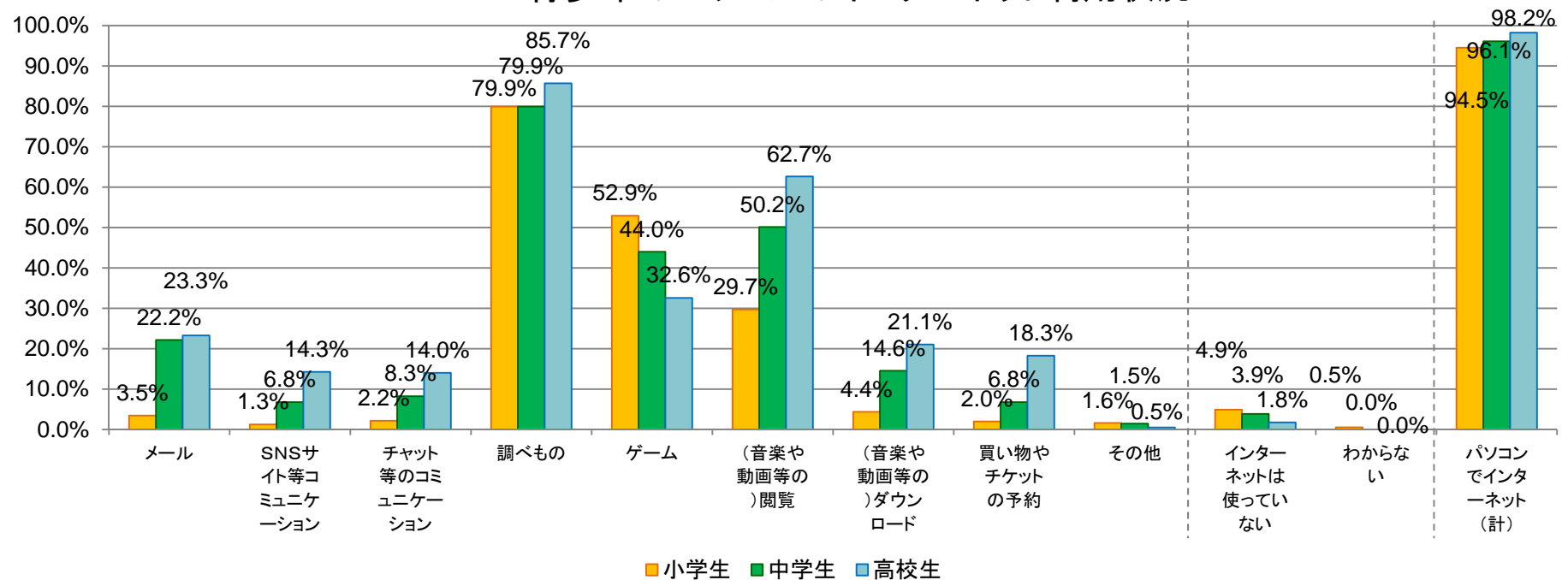
(青少年調査)

➤ 携帯電話でインターネットを利用している青少年のうち、3割半ばが2時間以上インターネットを利用。平均時間は約100分。

## ポイント②青少年のインターネット利用状況 - 3

青少年によるパソコンを通じたインターネット利用の常態化。

青少年のパソコンのインターネット利用状況



(注)1 「青少年の携帯電話のインターネット利用状況」の数値は、パソコンを使用していると回答した青少年をベースに集計。

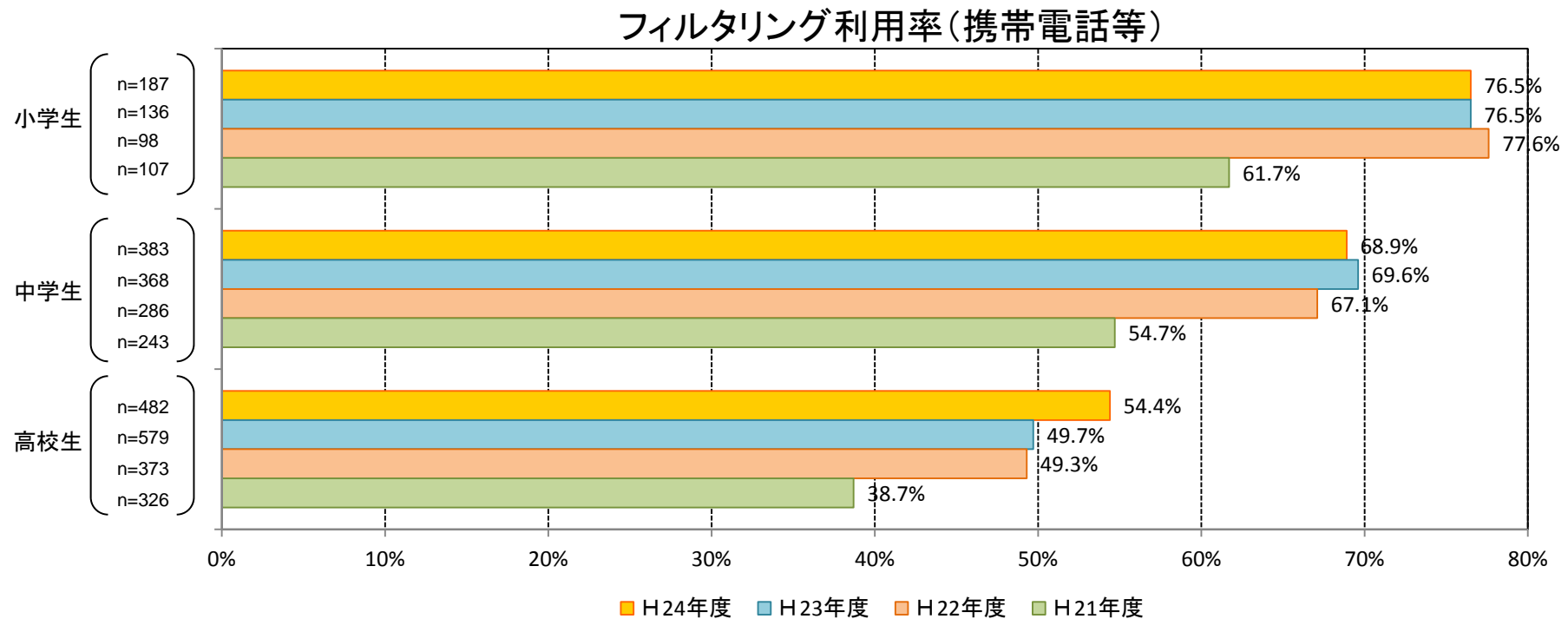
2 パソコンを使っていると回答した青少年は、小学生では81.9%、中学生では85.7%、高校生では85.4%。

(青少年調査)

- パソコンを使用する青少年のうち、小学生の9割半ば、中高生の9割台後半がインターネットを利用。
- 利用内容は、小学生では調べもの、ゲーム、中高生では、調べもの、(音楽や動画等の)閲覧が上位。

# ポイント③携帯電話におけるフィルタリング利用率 - 1

青少年の携帯電話におけるフィルタリング利用率はやや伸び悩み。



(保護者調査)

(注) 1 「携帯電話」とは、携帯電話、PHS端末、スマートフォンを指す。

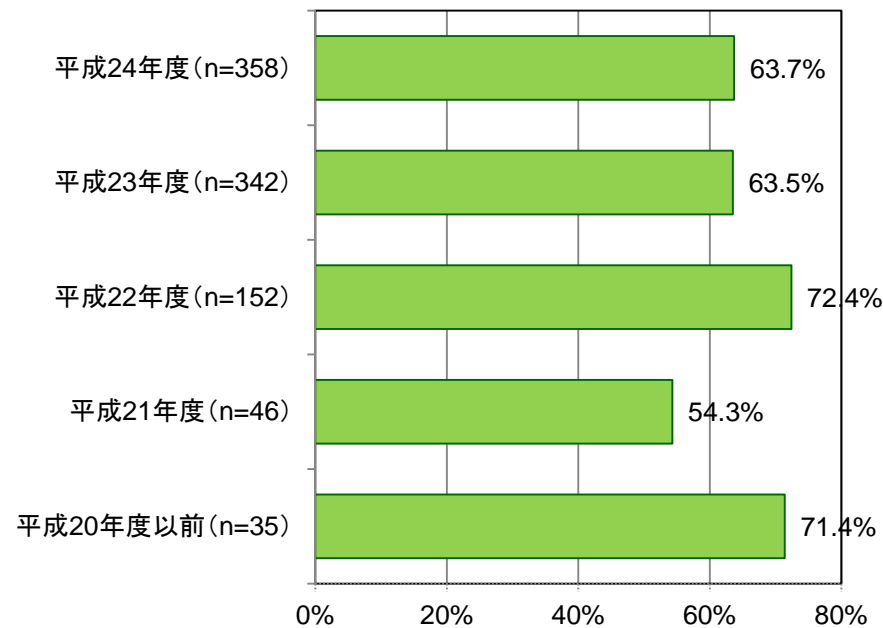
2 「フィルタリング利用」は、フィルタリングを設定している場合のほかに、インターネットに接続できない機種・設定の場合を含む。

➤携帯電話におけるフィルタリング利用率は、小学生で7割半ば、中学生で約7割、高校生で5割半ば。

## ポイント③携帯電話におけるフィルタリング利用率 - 2

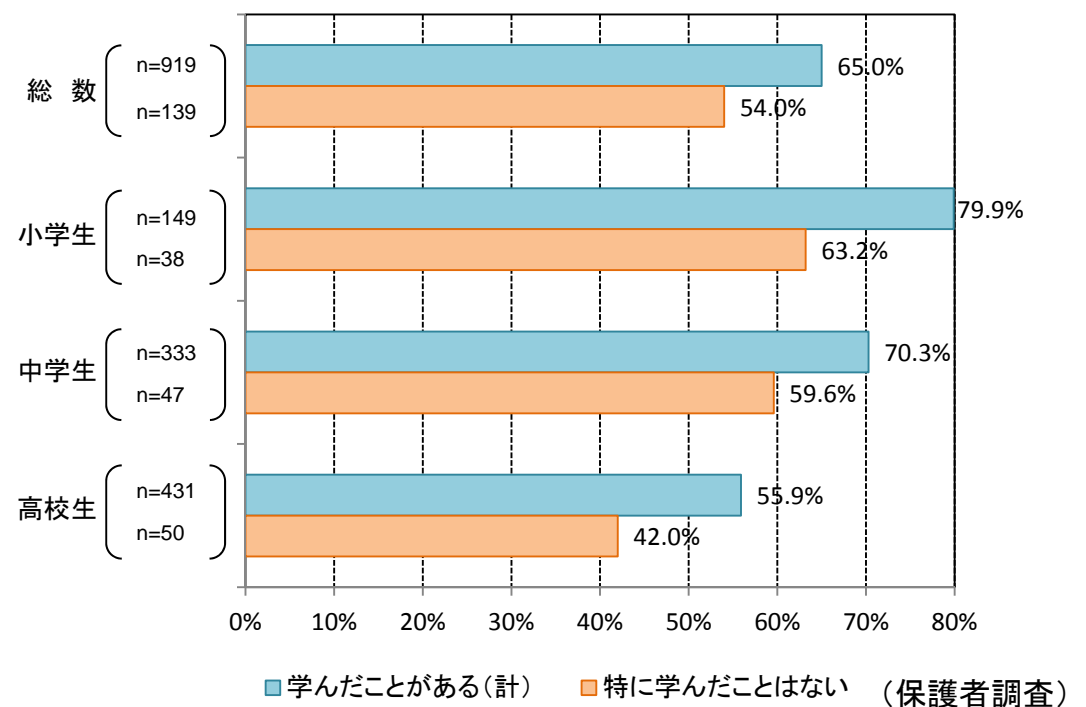
青少年の携帯電話におけるフィルタリング利用率は、携帯電話の購入時期別に見ると、横ばい傾向。また、啓発経験のある保護者の利用率の方が高い。

### 携帯電話フィルタリング利用率【購入時期別】



(保護者調査)

### 携帯電話フィルタリング利用率【啓発経験の有無別】



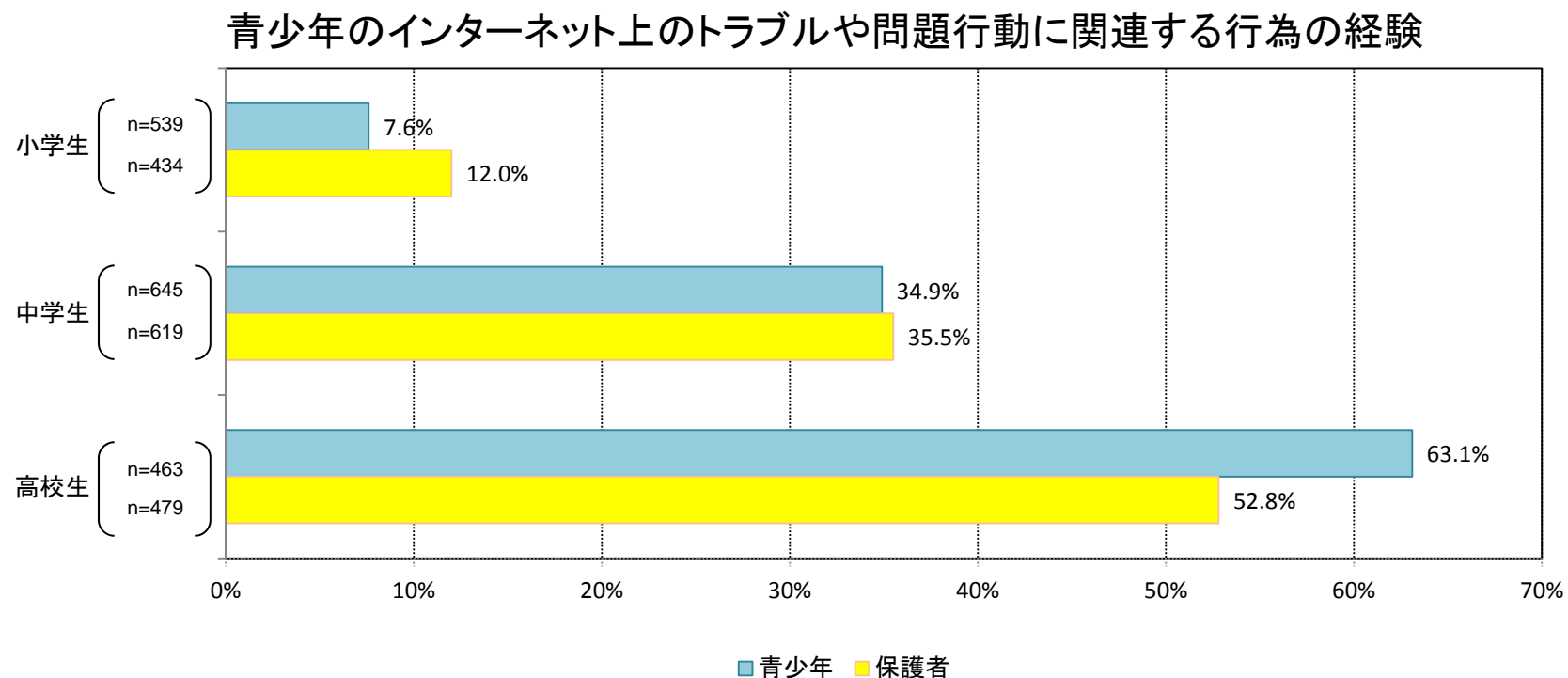
(保護者調査)

- 購入時期別に見ると、平成24年度は6割半ばであり、横ばい傾向。
- 啓発経験の有無別に見ると、啓発経験のある保護者の利用率の方が高い。



## ポイント④ 青少年の実態と保護者の認識とのギャップ - 1

青少年のインターネット上のトラブルや問題行動に関連する行為の経験については、青少年の実態と保護者の認識との間にギャップが見られる。

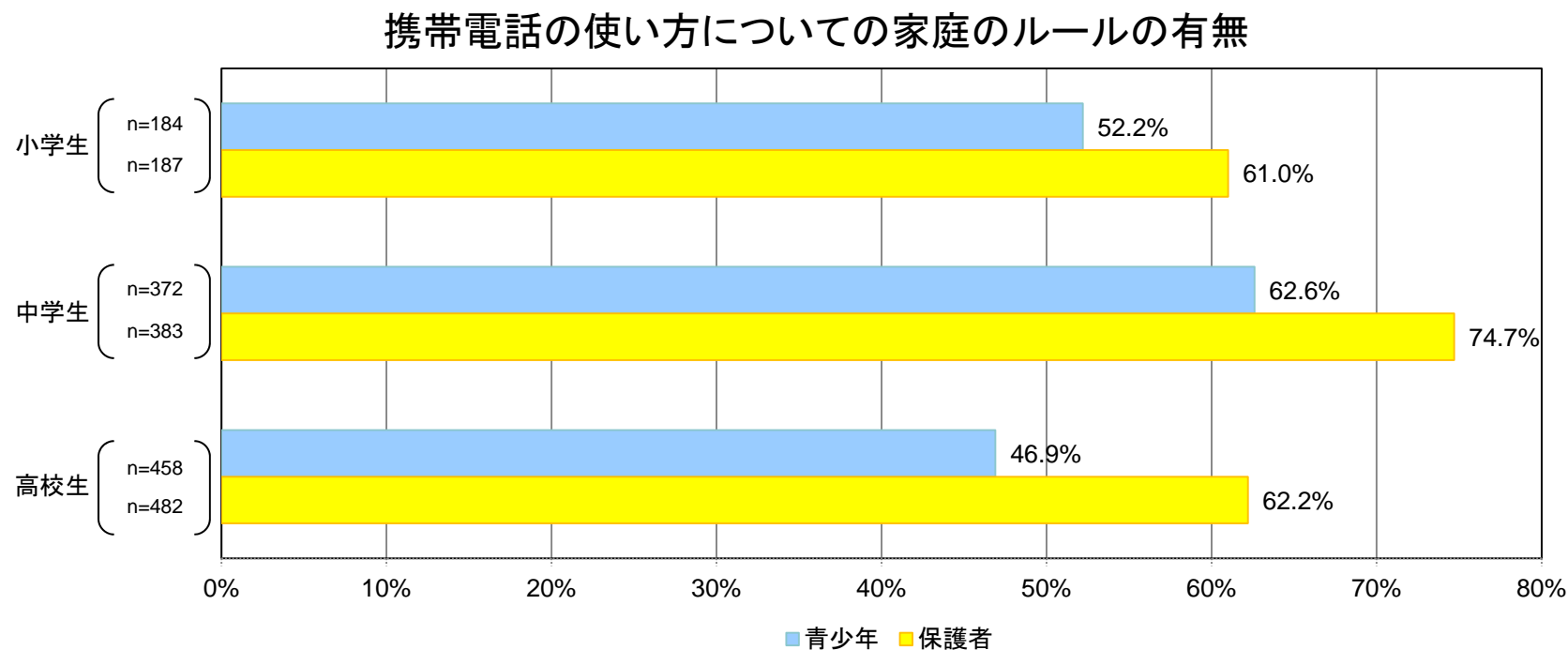


(注) 青少年が携帯電話又はパソコンでインターネットを利用していると回答した青少年及び保護者を対象。

➤ 青少年のインターネット上のトラブルや問題行動に関連する行為の経験については、高校生では、保護者の回答が青少年の回答を下回る傾向。

## ポイント④ 青少年の実態と保護者の認識とのギャップ - 2

青少年の携帯電話の使い方についての家庭のルールについては、青少年の実態と保護者の認識との間にギャップが見られる。



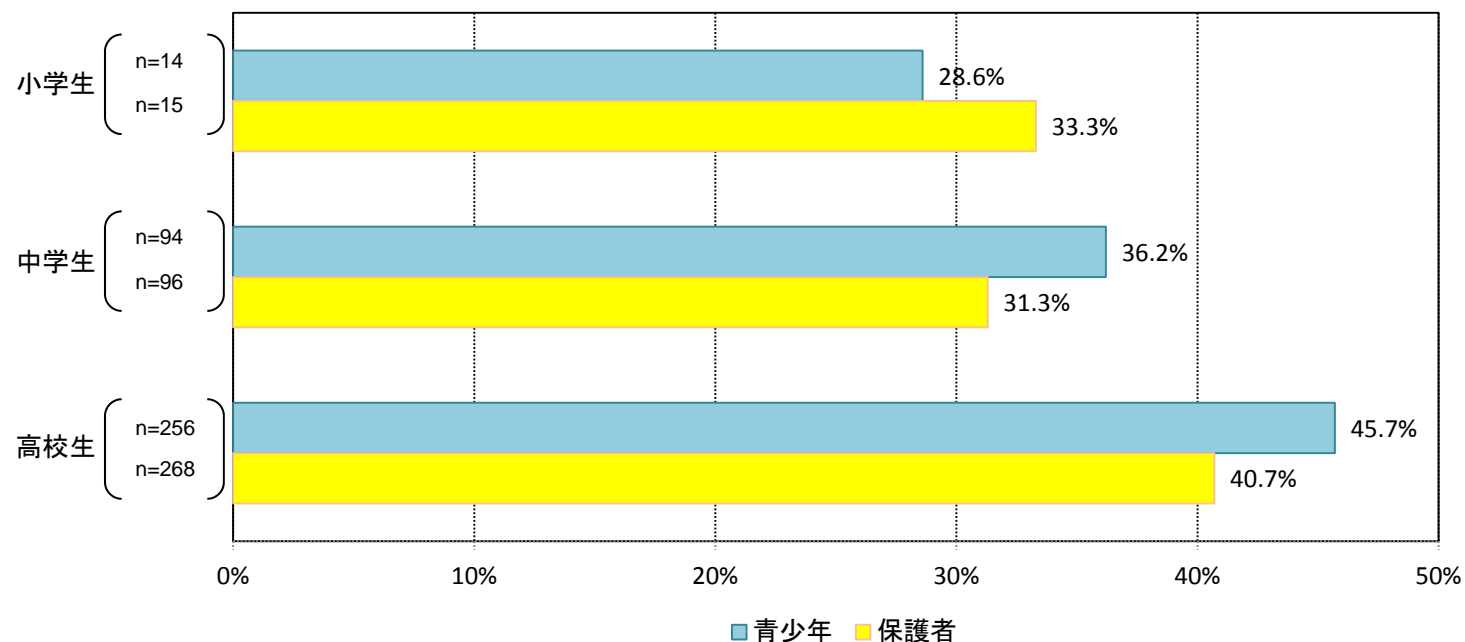
(注) 青少年が携帯電話を持っていると回答した青少年及び保護者を対象。

➤ 青少年の携帯電話の使い方についての家庭のルールについてなんらかのルールを決めているとの回答は、いずれの学校種でも保護者の回答が青少年の回答を上回っている。

## ポイント④ 青少年の実態と保護者の認識とのギャップ - 5

スマートフォンの無線LAN回線の利用については、青少年の実態と保護者の認識との間にギャップが見られる。

スマートフォンの無線LAN回線の利用状況



(注) 「スマートフォンの無線LAN回線の利用状況率」の数値は、携帯電話を持っていると回答した青少年のうち、スマートフォンを持っている青少年をベースに集計。

➤スマートフォンの無線LAN回線の利用については、学校種が上がるにつれ、保護者の回答が青少年の回答を下回る傾向。